

令和7年度 校内研究計画

沖縄市立 美里小学校

1 研究主題

基礎的・基本的学習内容の定着を目指した授業改善
～ 国語科における協働的な学びを通した「わかる・できる」授業づくり ～

2 主題設定の理由

近年、社会を取り巻く環境は急速に変化しており、将来を担う子供たちには、変化に対応できるように自ら学び続け行動できる力を身につける必要がある。それを受け、本県では、令和7年度より「自立した学習者」育成プロジェクトがスタートし、授業改善の取組として、「『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実」、「『学習基盤としての ICT』の活用」、「『指導と評価の一体化』の実現」、「『自学自習力』を育む取組の充実」が挙げられている。

本校では、これまで ICT 活用による授業改善や学習改善に取り組んできた。その成果として、学年での教材研究の共有、授業づくりでの ICT 活用の充実を図ることができ、「『学習基盤としての ICT』の活用」と1人1台端末を活用した「個別最適な学び」につなげることができた。

しかし、課題として、校内研修アンケートからは、児童の協働的な活動での表現活動に対する難しさや基礎学力の定着があげられていた。また、各種学力調査からは、特に国語科に課題があることが分かった。

そこで、今年度は、基礎的・基本的学習内容の定着を目指し、そのために、課題の多い国語科において、協働的な学びを通して「わかる・できる」授業づくりを行うこととした。導入の工夫（発問・教材・場の設定等）により自分の考えをもたせ、全員が授業に意欲的に取り組ませることや、この課題から何を学ばせたいかを意識し、「問い」をもたせること、学び合いを通して、自分の考えを広げ、深めていく体験を積み重ねることなどを意識することで、基礎学力を身に付けていくことができると考える。

3 めざす児童像

- (1) 自分の考えをもち、相手に伝えることができる児童
- (2) 協働的な学びを通して、自分の考えを広げ、深めていく児童

4 研究仮説

「基礎的・基本的学習内容の定着を目指した授業改善」校内研修を実施し、学校全体で協働的な学びを通した「わかる・できる」授業づくりを行うことで、児童が「問い」をもち、学び合いを通して自分の考え

を広げ深めていく体験を積み重ねることによって、基礎学力を身に付けることができるであろう。

5 研究内容

- (1) 「協働的な学び」について知る(理論研)
- (2) 全員が参加できる(自分の考えをもつ)ための導入の工夫(発問・教材・場の設定等)
- (3) 学び合う(広げる・深める)ための工夫

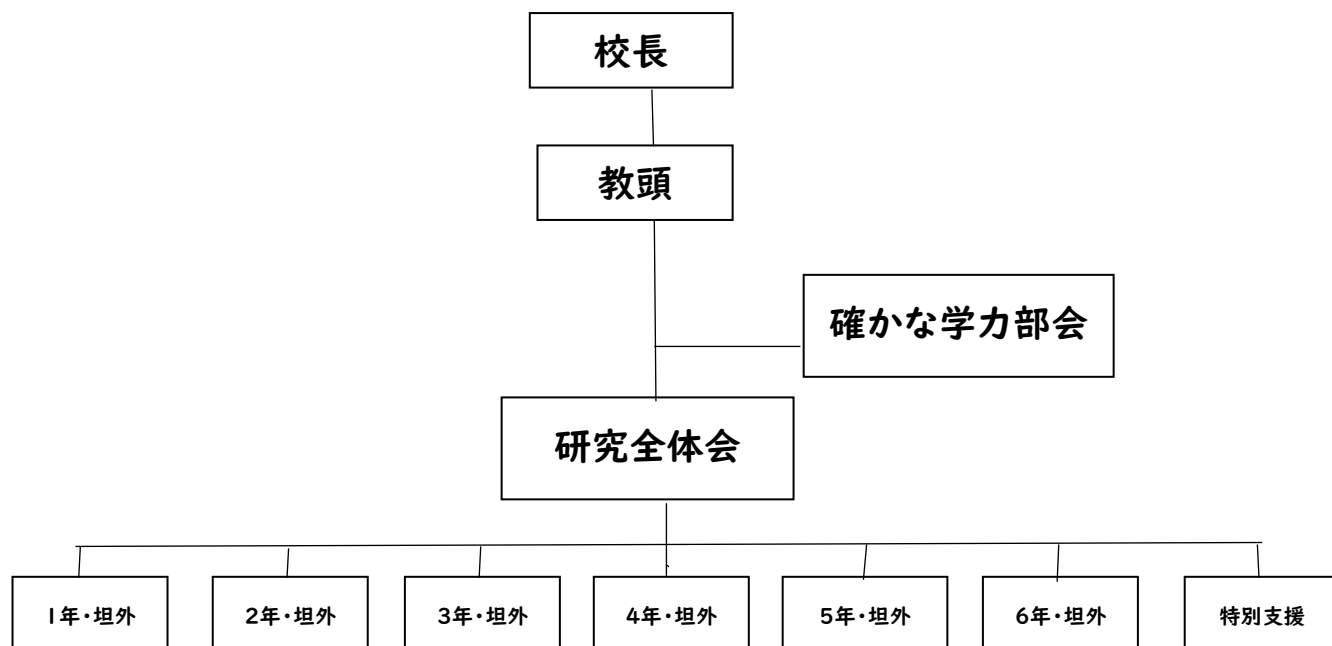
6 研究方針

- (1) 原則毎月第2・第4水曜日を全体での定例研修日とする。
- (2) 月1～2回程度、水曜日の15:20～16:45を学年の研修日とする。
- (3) 学力向上につながる研究をする。
- (4) 研究にあたっては、確かな学力部会を中心に全職員の共通理解のもと研究を進める。実施計画や全体会の持ち方、日程調整等研究がスムーズに進むよう企画推進を行う。
- (5) 授業実践を通して研究を深める。
- (6) 全体での授業参観・授業研究会を年2回、6学年と3学年で実施する。
 - ①授業学年等は、令和7年度から3年間を見通した計画を基本とする。(表①参照)
 - ②全体での授業研究会は、指導主事を招聘し指導助言を受ける。
- (7) (6)以外の学年や特別支援学級も、検証授業・授業研究会を行い、校長・教頭より指導助言を受ける。
- (8) 各学年で実践記録をまとめ、仮説にそって検証し、成果と課題を明らかにする。
- (9) 各学年の研究の成果と課題は、研究報告書にて行い全体で共有する。
- (10) 理論研修及び実践的な研修を取り入れる。

表①	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	低学年	高学年	低学年	高学年	高学年	高学年
授業学年	2年	5年	1年	4年	3年	6年
研究会進行	1年	6年	2年	3年	4年	5年

7 研究組織

(1) 組織



(2) 役割

校長・教頭	○研究全体の総括 ○校内研究授業の指導助言 ○渉外、研修費関係
研究主任	○研究計画（調整・運営）、指導案調整
研究副主任	○研修計画（調整・運営）、美里中ブロック連携教育、国語
確かな学力部会	○研究授業、授業研究会の運営 ○各学年の推進・連絡調整
研究全体会	○全体協議・決議 ○研究理論研修、実技研修 ○全体で授業参観し、授業改善の方策を探る ○研究授業・授業研究会
学年会	○学年部の研究、推進、教材研究 ○学習指導案作成 ○授業研究会の実施・評価 ○写真整理、資料収集・整理

8 研修計画 ※原則毎月第2・第4水曜日 定例研修日

	日 時	研修内容		備 考
1	4月2日(水)	研修① 校務支援		
2	4月3日(木) 職員会議	研修② 学力向上推進計画について(共通実践事項) (美里スタイル10、授業の始め方終わり方、漢字指導、 自学自習、美里っ子タイム等)	全職員	学推担当 ※3年教室にて
3	4月3日(木)	研修③ ①ICT操作について(電子黒板、タブレット、クラスルーム、 デジタル教科書、タブドリ等) ②板書、ノート指導について(学年統一) ③自学自習(量・内容)について(学年統一)	各学年	各学年教室
4	4月30日(水)	研修④ 校内研修の取り組み	全職員	校内研担当
5	5月15日(木) 15:15~16:30	研修⑤ 理論研修(講話・ワークショップ)	全職員	指導主事招聘 上江洲朝男先生
6	6月5日(木) 15:15~16:45	研修⑥ 救急救命講習 (AED、エピペン)	全職員	中部徳洲会 曾根 Dr.
7	6月25日(水)	研修⑦ 指導案検討、単元計画	各学年	
8	7月9日(水)	研修⑧ 簡易指導案作成、単元計画	各学年	
9	7月23日(水)	研修⑨ 夏休み① I-check 研修	全職員	教育相談担当
10	7月24日(木) 9:00~16:00	研修⑩ 夏休み② 授業づくり(各学年) (指導案作成における指導助言)	全職員	指導主事招聘 上江洲朝男先生
11	7月30日(水)	研修⑪ 夏休み③ GIGA 研修 情報モラル	全職員	情報担当
12	9月1日(月)	研修⑫ リフレクション① 説明→各学年 (全国学調・学びの確かめ結果の分析、学年の取り組み)	全職員	学推担当
13	9月10日(水)	研修⑬ 隣学年研(5学年)	高学年	
14	9月17日(水)	研修⑭ 全体研 (6学年)	全職員	指導主事招聘 上江洲朝男先生
15	10月22日(水)	研修⑮ 全体研 (3学年)	全職員	指導主事招聘 上江洲朝男先生
16	月 日()	研修⑯ 特支研 (特別支援学級)	特支	
17	10月29日(水)	研修⑰ 隣学年研 (1学年 または 2学年)	低学年	
18	11月19日(水)	研修⑱ 隣学年研 (1学年 または 2学年)	低学年	
19	12月10日(水)	研修⑲ 隣学年研 (4学年)	中学年	

20	1月14日(水)	研修⑳ リフレクション② 説明→各学年 (学力到達度調査結果の分析、学年の取り組み)	全職員	学推担当
21	1月26日(月)	研修㉑ 研究の成果と課題、まとめ	各学年	学年会にて
22	2月25日(水) 職員会議	研修㉒ 次年度計画について	全職員	校内研担当

〈研究授業の計画〉

※研究授業・授業研究会は、第2水曜日または第4水曜日の5校時に行う。

学年	日 時	参加者	研究会の進行 司会・記録担当	授業、研究会 写真担当
1 学年	10月29日(水)5校時 または 11月19日(水)5校時	低学年	2 年	2 年
2 学年	10月29日(水)5校時 または 11月19日(水)5校時	低学年	1 年	1 年
3 学年 全体研	10月22日(水)5校時	全職員	4 年	特支
4 学年	12月10日(水)5校時	中学年	3 年	3 年
5 学年	9月10日(水)5校時	高学年	6 年	6 年
6 学年 全体研	9月17日(水)5校時	全職員	5 年	特支
特支学級	月 日() 校時	特支	特支	特支

※全体研(年2回):3学年と6学年で実施する。

※隣学年研:授業学級以外は、5校時授業をカットして検証授業・授業研究会を行う。

授業研究会は、職員連絡会後に行い、校長・教頭より指導助言を受ける。